

技術科

3年

※DF特太ゴシック体は学力向上に関わる内容

※下線部は表現する能力の向上に関わる内容

課題分析	授業改善推進プラン
<p>1 知識・技能 材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な知識や理解とそれらに係る技能を全体的に高めることができた。また、科学・技術的な見方を深化させながら理解の深化と技能の習熟を図りながら総合力としての問題解決力が高まってきた生徒も少なくない。</p> <p>2 思考・判断・表現 習得した技術の知識や考え方を実践・体験的な学習場面で応用、活用し、理解の深化や技能の習熟を図るとともに、技術によって課題を解決できる生徒が多くなりが始まった。しかし、受け身の学習に終始している生徒もまだ散見できる。習得した知識や技能を実践的、体験的な学習に応用・表現できない生徒も散見できる。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度 全体的に意欲的に学習に取り組んでいる。資料を活用し、自ら考え、技術によって課題を解決する力や自分なりの新しい考え方や解決策を構想できる生徒も多く見られるようになってきた。</p>	<p>1 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学習内容、使用工具、学習目標、学習方法、評価の観点等内容やめざすものを明らかに示す。 ・1単位時間の内容・目標を明らかにする。 ・個々のフォローアップを行う。 <p>2 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習内容を具体的に示す。 ・多面的に考えられるような最新の技術や資料を紹介し、それらを学習活動に反映させ、創造的な学びに向うことができる場を用意する。 ・作業を通して知識や技能を活用できる場を設定する。 <p>3 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業要素毎に練習課題を用意する。 ・作業において活用できる資料や具体的な方法を示し、技能の向上を図る。 ・作業をとおして習得した知識を活用させることで、より深い学びへとつなげる。 ・定着が十分でない生徒や作業が遅れている生徒に対してフォローアップを行いより確実な定着を図る。